

芸閣

～図書館だより～

第3号
2024年6月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

おうとうき 桜桃忌

6月19日は太宰治の忌日で「桜桃忌」と呼ばれています。
昭和23年6月13日、太宰治は愛人の山崎富栄と玉川上水に入水します。遺体が発見されたのが6月19日。奇しくも太宰治の39回目の誕生日。晩年の作品『桜桃』、太宰治がさくらんぼ（桜桃）を好きだったことから、「桜桃忌」と名付けられたようです。今でも、桜桃忌にはイベントが開催されています。

ちなみに、「桜桃忌」は夏の季語です。

太宰治の有名な作品を紹介します。

『人間失格』『斜陽』『走れメロス』『ヴィヨンの妻』……

桐蔭図書館にもありますので、読んでみてください。

お知らせ

7月17日（水）午後1時から
図書館講座を開催します。（約1時間）
中学校1～3年生、高校1～2年生の
前期図書委員は全員参加ですので、ご予定ください。面談を入れないようお願い
します。
図書委員以外の人でも参加できます。

季語の世界^夏 さみだれ 五月雨

“さ”は五月、“みだれ”は水垂れの意味があるといわれます。“五月”は陰暦の五月で、新暦では六月ごろの梅雨の雨を示す季語です。この時期の雨の様子から、“継続せずに、少しずつ繰り返す”という意味もあります。

五月雨や

大河の前に

家二軒

与謝蕪村



©少年写真新聞社2024

裏面に新しく入った本の紹介を載せています

新しく入った本の紹介



- 『35年目のラブレター』小倉孝保 著 講談社
『アルプス席の母』早見和真 著 小学館
『かわいそ笑』梨 著 イースト・プレス
『名探偵のままでいて』小西マサテル 著 宝島社
『名探偵じゃなくても』小西マサテル 著 宝島社
『もしも徳川家康が総理大臣になったら』真邊明人 著 サンマーク出版
『もしも彼女が関ヶ原を戦ったら』真邊明人 著 サンマーク出版
『それを世界と言うんだね』綾崎隼 著 ポプラ社
『近畿地方のある場所について』背筋 著 KADOKAWA
『きこえる』道尾秀介 著 講談社
『雨上がりの空に君を見つける』菊川あすか 著 スターツ出版
『イングリッシュマン復讐のロシア』デイヴィッド・ギルマン 著 早川書房
『ハンターキラー潜航せよ 上・下』ジョージ・ウォーレス 著 早川書房
『あなたの人生の物語』テッド・チャン 著 早川書房
『いざ、岩戸開きの旅へ！古代出雲王国謎解きトラベル』坂井洋一ほか 著 ヒカルランド
『小学生でもわかる世界史』ぴよぴよ速報 著 朝日新聞出版
『出来事と文化がわかる平安時代』伊藤賀一 監修 朝日新聞出版
『地図でスッと頭に入る平安時代』繁田信一 監修 昭文社
『世界でいちばん素敵なルネサンスの教室』祝田秀全 監修 三オブックス
『眠れないほどおもしろい日本書記』板野博行 著 三笠書房
『土偶を読む図鑑』竹倉史人 著 小学館
『勉強嫌いでもハマりする勉強麻薬』海外塾講師ヒラ 著 フォレスト出版
『心ときめく世界の民族衣装』産業編集センター 編 産業編集センター
『まんがでわかる社会心理学』北村英哉 監修 カンゼン
『世界の紛争地図すごい読み方』ライフサイエンス 著 三笠書房
『エナガの重さはワンコイン』くますけ 絵・文 山と溪谷社
『日本で会えるペンギン全12種パーフェクトBOOK』木村悦子 著 グラフィック社
『常識やぶりのアイデアおやつ』shun cooking 著 大和書房
『パン&サンドイッチ おいしい!300レシピ』沼津りえ 著 永岡書店
『オタクのたのしい創作論』カレー沢薫 著 文藝春秋
『イラストレーターのための現代ファッション大図鑑』よしかわかなめ 監修 KADOKAWA
『教養としての世界宗教史』島田裕巳 著 宝島社
『世界の宗教地図 わかる!読み方』ライフサイエンス 著 三笠書房

ここに紹介しているのは
図書館員が書店に行って
選んできた本です

